

図書館 1月の予定

◎1月の休館日

全館休館日…1日(金・祝)～3日(日)・12日(火)・25日(月)

◎映画上映会…17日(日)午後2時

「キャッツ&ドッグス」(洋画・吹替版)

◎牛久おもちゃ病院(毎月第3日曜日午前10時～正午)…17日

◎おはなし会

*おはなしよんで(毎週水曜日午後2時)…6日・13日・20日・27日

*おはなし会(毎週土曜日午後2時)…9日・16日・23日・30日

*うさちゃんきいて
(毎月第3金曜日午前10時30分)…15日

*おはなしとんとん
(毎月第2日曜日午前11時)…10日

問い合わせ

市中央図書館 ☎871-1400



小川芋銭研究センター

一時移転のお知らせ

牛久消防署西部出張所跡にある「小川芋銭研究センター」は、改修工事のため、三日月橋生涯学習センターに一時移転します。

期間中、当センターへのご連絡などは移転先をお願いします。

しばらくの間、ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いします。

工事期間 平成21年12月18日(金)

～平成22年3月26日(金)

移転先 三日月橋生涯学習センター

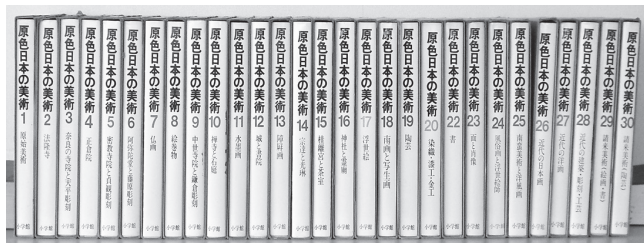
〒300-1224

庄兵衛新田町210-3

☎874-1340

問い合わせ

市生涯学習課 ☎内線3031



聖 小川 芋 銭

再び芋銭を考える⑭

小川芋銭の絵画は、南画といわれるものです。南画は、江戸期の中ごろから盛んに描かれた絵画で、そのもとは、中国の南宗画なんしゅうがにあります。

南画家は、「万里の道をゆき万巻の書を読む」、つまり、諸所を旅して見聞を広め、多くの書物を読み教養を豊かにすることによって、自身の芸術を構築することを理想としました。

芋銭は、これを実践した画家で、特にその教養の深さには、驚嘆すべきものがあります。周囲からは、画家としてよりも学者として一目置かれていた芋銭ですが、身に付けた豊かな学殖は、すべて独学によるものでした。小川家には、その糧となった大量の芋銭愛蔵書群(芋銭文庫と呼称しています)が遺されています。

芋銭の芸術を正しく理解するためには、私たちもまた多くの書物をひもとく必要があります。芋銭研究顕彰を目的とする当センターでは、当然のことながら、相応の量の書物を備えなければなりません。

そこで、この連載を読まれた皆さんにお願いがあります。皆さんの蔵書の中で、ご不要となった、日本・中国の漢詩集、江戸期の随筆集、江戸期の俳人の句集および俳論俳文集、俳句事典、画集(全集)、展覧会図録、漢和辞典、国語辞典(簡便なものを除く)、民俗・風俗事典、仏教事典、禅語辞書などをお持ちでしたら、当センターへお譲りいただきたくお願いします。

上記写真は、昨年10月に寄贈いただいた美術全集です。当センターの蔵書を充実させることによって、芋銭研究は確実に進展するところとなります。

小川芋銭研究センター

北畠健